

資料が語る

阪神・淡路大震災の
記憶と^いま^ま現在

展示品目録

2009年10月9日(金)～2010年1月22日(金)

展示会場①：神戸大学附属図書館 社会科学系図書館
「2階展示コーナー」及び「震災文庫」

展示会場②：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
防災未来館 5階「資料室」(無料ゾーン)

はじめに

1995(平成7)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災からまもなく15年という節目を迎えるにあたり、神戸大学附属図書館と阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターとの共催で合同展示会と講演会を開催いたします。

震災直後から、被害・救護・復興などに関するさまざまな資料の収集・保存・公開に努めてきた両機関の取り組みを、この機会に、より多くの方に知っていただきたいと思っております。

また、この催しを通じて、震災の記憶を伝え、その教訓を未来に活かすことで、安全・安心な社会の実現に少しでも貢献することができましたら、これに過ぎる喜びはありません。

神戸大学附属図書館 社会科学系図書館 会場

神戸大学附属図書館では、被災地の中に位置する大学図書館の責務として、震災に関わる資料を広く収集し、1995(平成7)年10月30日に「震災文庫」として公開を始めました。

本合同資料展では、社会科学系図書館2階展示コーナーと震災文庫内に展示スペースを設けて、関連資料や写真を展示しています。また、震災文庫の資料を自由に閲覧していただけます。



神戸大学附属図書館「震災文庫」

A : 展示目録中、このマークがある資料は、デジタル化されています。これらの資料は、神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ内の「震災文庫デジタルギャラリー」でご覧になれます。




1. 震災の報道と被災状況

写真:「総合・国際文化学図書館開架閲覧室」

No.	展示資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号
1-1	「神戸新聞発行ドキュメント」	新聞	1995年1月 発行:神戸新聞社	正確な発行日は不明であるが、震災から1~2週間後に発行されたと思われる。京都新聞社の全面的協力から自主制作紙面の作成までの経過がまとめられている。	震災-1-s9
1-2	朝日新聞(大阪)1月17日貼出し速報	新聞	[1995年1月] 発行:朝日新聞社	号外が出される前の速報として使われたものと思われる。紙面上方の「01/17 835:56」という記述から、1月17日8時35分56秒に印字されたと推測される。	震災-1-s14
1-3	「毎日新聞号外」1995.1.17付	新聞	1995年1月17日 発行:毎日新聞社	震災当日の号外(東京本社版)。ヘリコプターによる上空からの被災写真も掲載している。ほぼ写真のみで構成された第2面は見る者に大きなインパクトを与える。	震災-1-s17
1-4	『阪神・淡路地震阪神大震災地図』	地図	1995年5月 発行:日地出版	日本地図学会の調査員が震災発生1週間後から40日間に亘って記録した被害状況地図。色別の表示により、被害状況の把握が容易である。	震災-1-15
1-5	『ドキュメント阪神大震災全記録:「平成七年兵庫県南部地震」完全保存版』	図書	1995年4月 発行:朝日新聞社	多くの被災写真と共に、震災当日から1週間分の詳細なドキュメント、亡くなられた方の氏名一覧(2月17日現在)を掲載している。	震災-1-8
1-6	『ASAHI NEWS SHOP』	図書	1995年3月 猪熊弘子編著『私たちの阪神大震災』(朝日新聞社)	ASAHI NEWS SHOPは、1995年3月にシリーズとして刊行が始まり、「後世へ残す大震災の記録」として同年5月までに計20冊が出版された。その後、震災以外のテーマについても刊行が続けられ、同時代の貴重な記録を発信し続けた。	震災-16-9
		図書	1995年3月 朝日新聞アエラ発行室編『大震災100人の瞬間』(朝日新聞社)		震災-16-10
		図書	1995年3月 宮本貢編著『1995・01・17・05・46:阪神大震災再現』(朝日新聞社)		震災-16-12
		図書	1995年3月 今西憲之著『バイク大震災を走る』(朝日新聞社)		震災-16-11
		図書	1995年4月 佐野真一著『予告された震災の記録』(朝日新聞社)		震災-16-12



1-7	『中学生大震災作文集』	図書	1995年4月 朝日新聞社編 発行:朝日新聞社	震災で校舎を取り壊しとなった神戸市東灘区の本山中学校の生徒の作文集。大人の文章にはない率直さを感じられる。	震災-16-1
-----	-------------	----	-------------------------------	---	---------

パネル名	種類	発行年、出典資料	請求記号
図書館室の被災状況	写真	1995年1月 神戸大学附属図書館撮影『兵庫県南部地震による神戸大学附属図書館被害状況写真集』(神戸大学附属図書館(制作))	震災-1-145 



2. 震災の中で大学は—

写真:「六甲台南食堂南側のよう壁上の道路」
(出典:神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』)

No.	展示資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号
2-1	「神戸大学六甲祭 震災から10年～人の力～」	パンフレット	[2005年10月] 発行:神戸大学六甲祭運営委員会	2005年、神戸大学六甲祭において「震災から10年～人の力～」というイベントが行われ、「人の力」をテーマに集められたアンケートが展示された。展示資料は、その中より震災当時、農学部へ避難した方による声である。	震災-8-v375
2-2	神戸大学の体育館で避難生活を続ける人たち	写真	前田耕作撮影 『阪神・淡路大震災(記録写真): 1995.1.17～1995.9』	この写真から神戸大学に避難された方々の様子をうかがい知ることができる。この国際文化学部体育館は1995年11月30日まで避難所として利用され続けた。	震災-1-v11 
2-3	「ひなん新聞」no.1, no.10	新聞	1995年1月27日, 7月24日 発行:世話人グループ	神戸大学の体育館へ避難されていた方々の記録。互いに協力し合い、懸命に避難所生活を送る姿がうかがえる。	震災-5-v15
2-4	「神戸大学新聞」号外第3号	新聞	1995年1月30日 発行:神戸大学新聞会	神戸大学新聞は、神戸大学新聞会が発行する学生新聞。地震から1週間後の1月25日に神戸大学学生震災救援隊と連携して号外第1号を発行した。	震災-8-v28
2-5	「神戸大学総合ボランティアセンター 設立趣意書」	パンフレット	[1995年] 発行:[神戸大学総合ボランティアセンター]	神戸大学総合ボランティアセンターの設立は1995年5月10日。展示資料はその設立趣意書である。	震災-7-v203 

パネル名	種類	発行年、出典資料	請求記号
学内の被災写真「神戸大学正門裏」	写真	1995年12月 進藤裕之撮影『阪神大震災記録写真集:ある大学院生の目を通して』(神戸大学附属図書館(制作))	震災-1-95 
学内の被災写真「六甲台南」	写真	1996年1月 神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』(神戸大学)	震災-8-90他 
学内の被災写真「発達科学部グラウンド」	写真	1995.2 稲葉洋子撮影[神戸市灘区鶴甲3丁目周辺写真]	震災-1-s81 
避難住民の受入数の推移	図書	1996年1月 神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』(神戸大学)	震災-8-90他 
避難所の食事例(4月4日)	写真	1995年 [避難所支給給食弁当写真集]([神戸大学農学部避難所])	震災-6-v688 
大学の震災研究について「工学部の取り組み」	図書	1995年2月 神戸大学工学部建設学科土木系教室兵庫県南部地震学術調査団編著『神戸大学工学部兵庫県南部地震緊急被害調査報告書(第1報)』(神戸大学工学部)	震災-11-17他 
大学の震災研究について「神戸大学公開講座被災・復興・防災」	図書	1996年1月 神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』(神戸大学)	震災-8-90他 
神戸大学犠牲者合同慰霊祭	写真	1996年1月 神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』(神戸大学)	震災-8-90他 
神戸大学犠牲者慰霊碑	写真	2002年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.4(1997年～2000年)「神戸大学で震災物故者の慰霊祭」(1999年1月14日撮影)	— 
神戸大学学生震災救援隊	雑誌	1995年11月 『Qen Times』創刊号(神戸大学学生震災救援隊)	震災-7-z62
医学部学生ボランティア	写真	1996年1月 神戸大学庶務部庶務課編著『兵庫県南部地震による震災の記録』(神戸大学)	震災-8-90他 
集会「神大生のボランティア活動」	パンフレット	1995年[4月]「神大生のボランティア活動:その現状・課題・ニーズ」([神戸大学ボランティア])	震災-7-v209
留学生の被災	図書	1995年7月 留学生震災文集編集委員会編『忘れられない...あの日:神戸からの声』(留学生震災文集編集委員会)	震災-16-47他 



3. 震災を伝える－復興までの道のり

写真:「灘区琵琶町2丁目、JRガードのすぐ南」
(出典:大木本美通撮影『震災記録写真』)

No.	展示資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号
3-1	『こうべからのメッセージ・復刻版プラス今、グラッときたら：阪神・淡路大震災から10年』	図書	2004年12月 発行: [生活協同組合コープこうべ生活文化・福祉部]	1998年に発行された『こうべからのメッセージ』での内容は、災害の中で生き延びるノウハウや生活の知恵をまとめたものだったが、この復刻版では、予想される地震や津波に対してどのような備えができるかについても提案されている。	震災-5-571
3-2	『翔け神戸：阪神・淡路大震災の定点撮影』	図書	2000年9月 大仁節子著 発行: 友月書房	著者は、地震で全壊した旧宅への思いが動機となり写真を撮り始めた。「震災直後」の写真は震災の2日後から、また、復興しつつある写真は1997年2月以降に撮影されたもので「定点撮影」の写真となっている。	震災-1-324
3-3	『震災マニュアル』(危機管理シリーズ)	図書	2005年 発行: フォーバイフォーマガジン社	阪神・淡路大震災などを教訓とした、地震災害への備え・対処法等について掲載されている。防災・避難用品についても紹介されており、いざというときに役立つ災害マニュアルとして使用できる。	震災-5-589
3-4	KOBEルミナリエ ふみカード	一枚もの	[1998] 「KOBEルミナリエ：夢灯す、光の彫刻」 発行: [日本郵政公社]	神戸ルミナリエは、犠牲者への鎮魂と被災地の復興を願い、1995年12月から毎年開催されており、2009年で15回目を迎える。震災の記憶を語り継ぎ、市民の「希望」を象徴する行事として、神戸の冬の風物詩となっている。	震災-13-s472
3-5	「読売新聞」2009(平成21)年1月17日(夕刊)	新聞	2009年1月17日 発行: 読売新聞社 [記事切抜]	震災14年目にあたる当日の新聞。毎年行われる震災の追悼行事などが今年も第一面に掲載されている。	震災-1-v233

パネル名	種類	発行年、出典資料	請求記号
定点観測写真	写真	1995年1月-2002年2月 大木本美通撮影『震災記録写真』No.1～No.5	——— (A)



4. 震災文庫展示資料

写真:「震災文庫内地図用引き出し棚」

No.	展示資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号
4-1	あしやボランティア[腕章]	モノ資料	1995年1月 芦屋ボランティア	「震災文庫」では、このような現物資料も収集・保管されている。ボランティアや救護班で使われた腕章と救急往診車の手書き表示ラベル。腕章全体に見られる汚れが、この資料をして震災の「物言わぬ証人」たらしめているように思われる。	震災-7-s228
	救護班:東灘保健所[腕章]	モノ資料	1995年1月 東灘保健所		震災-10-s130
	阪神大震災対策救護活動:東灘保健所[腕章]	モノ資料	1995年1月 東灘保健所		震災-10-s129
	救急往診車:東灘保健所[表示ラベル]	ラベル	1995年1月 東灘保健所		震災-10-s109
4-2	止まった掛時計	モノ資料	[1995年1月17日]	ゆれの衝撃によって故障し、大震災の発生時刻、5時46分で針が止まった掛時計。修理が不可能で処分にも踏み切れずセンターへ寄贈された。	2200469-000001 (人と防災未来センター所蔵資料)
4-3	焼け溶けた硬貨	モノ資料		火災で焼け溶けた硬貨(金属片を含む)80点。資料提供者が全焼した自宅の焼け跡で見つけたもの。	0000349-001001 (人と防災未来センター所蔵資料)
4-4	ゆがんだ側溝のふた	モノ資料		側溝のふた。形状の歪みが地震の激しさを物語っている。被災地のいたるところでこのような現象が見られた。	1300322-003609 (人と防災未来センター所蔵資料)

※ その他、震災文庫内の展示台には、2階展示コーナーで展示している資料の複本や関連資料、震災当日の各新聞社の号外を並べています。ご自由に閲覧席をご覧ください。



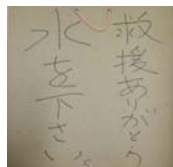
写真:「震災文庫内展示スペース」

阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に活かすことを通じて、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することを使命として、兵庫県により平成14年4月に設立されました。その所蔵資料は1995(平成7)年10月から始まった兵庫県の調査事業を基礎としています。

本合同資料展では、資料室(防災未来館5階 無料ゾーン)に展示スペースを設け、関連資料を展示するとともに、センターにおける資料保存手法の一部を紹介しています。また、震災文庫と連携した「震災資料横断検索システム」についても紹介します。



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



1. 震災資料が語る記憶 — 収集

写真:「ボード「救援ありがとう 水を下さい」」

No.	展示資料名	種類	発行年、作成者等	コメント	請求記号
1-1-1	『小野柄小学校避難所新聞』 No.1	紙資料	1995年1月20日	避難所となった神戸市立小野柄小学校で配布されていた新聞。多数の被災者が生活した避難所では、日常生活に必要な情報やルールは、このような形で伝えられた。	330089-001001
1-1-2	『小野柄小学校避難所新聞』 No.3	紙資料	1995年1月22日		
1-1-3	『小野柄小学校避難所新聞 最終号発刊にあたって』	紙資料	1995年7月31日		
1-1-4	『デイリーニーズ 生活情報かわら版』 創刊準備号	紙資料	1995年1月25日	震災によって生活の基盤に大きなダメージを受けた被災地の実態を伝えるとともに、人びとに日々の生活に不可欠な情報を届け続けた。	88-001146
1-1-5	『デイリーニーズ 生活情報かわら版』 第22号	紙資料	1995年2月17日		
1-1-6	『ウイークリーニーズ』 Vol.1 No.13	紙資料	1995年6月4日	『デイリーニーズ』の後継誌のミニコミ誌。生活に不可欠な情報はもちろん、ボランティア従事者がどのような所感をもって活動していたかを感じ取ることができる。	1400379-003001
1-1-7	『ウイークリーニーズ』 Vol.2 No.13	紙資料	1996年1月28日		1400379-003002
1-1-8	『震災ニュース』18号	紙資料	1995年3月29日	兵庫県広報課が発行していた広報。18号では震災でショックを受けた子ども達への対応が特集されている。	90-007106
1-1-9	外国人地震情報センターの多言語で作成されたチラシ	紙資料	[1995] 外国人地震情報センター[電話相談]	被災した外国人のために、外国人地震情報センター相談窓口を多言語で知らせている。	震災-6-S60 (震災文庫所蔵資料)
1-1-10	『外国人地震情報センターニュースレター』第5号	紙資料	1995年4月頃	同内容のニュースレターを、多言語で発行している。	1200246-0051他
1-1-11	『FM796フェニックス放送台本』 1995年2月15日分	紙資料	1995年2月15日	兵庫県は、ラジオ局FMフェニックス796を開設し、1995年2月15日から3月末まで、被災者向けに道路情報や入浴場所の周知などの生活情報を発信した。その初日の台本。	438-001030
1-2-1	「阪神地区復旧工事道路情報: 阪神高速3号線(神戸線)の復旧工事に伴う国道43号線終日対面1車線通行規制」	チラシ	1995年7月	震災によって、各地の交通インフラは寸断された。神戸高速3号線は、大阪市西区から尼崎・西宮を経て神戸市須磨区へ至る主要道路。阪急神戸線は、大阪・神戸三宮という大都市間を接続する路線。両線の被害は、生活や救援に大きなダメージを与えた。	震災-13-S7 (震災文庫所蔵資料)
1-2-2	「お知らせ: 西宮北口発御影行き代替バスのご利用について[(待ち時間は長時間)]」	掲示用貼紙	1995年		震災-13-S209 (震災文庫所蔵資料)
1-2-3	「避難所の要望」(複製)	紙資料	1995年	本来の生活の場ではない避難所の生活は、人びとに大きな負担となった。この資料からは、負担の重さと、それを少しでも軽減しようとするボランティア団体の熱意をうかがうことができる。	1100582-000067
1-2-4	せんたく・片付巡回案内のチラシ	紙資料	1995年1月28日		1100582-000072
1-2-5	地震年越しまつり	ポスター	1997年	仮設住宅に入居された被災者の中には、さまざまな地域から転居してきたり、従来の近所とのつながりが断たれてしまった方も多かった。これらの資料からは、そのような中で新たな人間関係を懸命に構築しようという姿勢をうかがうことができる。	震災-6-S237 (震災文庫所蔵資料)
1-2-6	仮設住宅で除夜の鐘を	チラシ	1995年12月		震災-6-S494 (震災文庫所蔵資料)
1-2-7	茶話やかパラソル [開催のお知らせ]	チラシ	1995年8月		震災-6-S522 (震災文庫所蔵資料)

1-2-8	美容室のチラシ	紙資料	1995年	格安、または生活困窮者には無料でシャンプー・ブローをするというチラシ。被災後の生活の中で、損得勘定なしに少しでも人びとの役に立ちたいという感情が滲み出ている。	1100582-71
1-2-9	がんばろうや WE LOVE KOBEと書かれた買物袋	モノ資料	作成年月日不詳	震災を受けて、多くの企業も救援に立ち上がった。ダイエーは神戸に本店を持つこともあって、積極的に救援物資を送り、買物袋にもメッセージを付していた。	82-001071
1-3-1	菊水小学校への寄せ書き	紙資料	1995年2月頃	被災地となった10市10町には、全国各地から励ましの声が届けられた。これは、神戸市立菊水小学校(兵庫区、名称は当時)に全国の小学校から届けられた寄せ書き。	3400274
1-3-2	ボード「救援ありがとう水を下さい」	モノ資料	1995年1月24日	震災の影響によって、各地で断水が起きたが、給水体制が整うまでにはかなりの時間を要した。この資料からは、切迫した避難生活をうかがうことができる。	2400232-000001
1-3-3	「救援物資集計表」	紙資料	1995年1月25日 日本赤十字社兵庫支部	日本赤十字社を通じて、全国から届けられた救援物資の集計と、その配布状況を記録した資料。	90-003008
1-3-4	「救援物資配布一覧表」	紙資料	1995年1月23日 日本赤十字社兵庫支部		90-004067
1-3-5	『救援物資の受け入れ状況』	その他紙資料	1998年3月6日	国内のみならず、海外からも多くの救援物資が届けられた。兵庫県災害対策本部が作成した救援物資受入状況。	1-B/チジ/2680
1-3-6	各地から集まってきた救援物資の搬入の様子	写真資料	1995年1月21日	各地から集められた救援物資が、被災地での生活の中でどのように活用されたのかをうかがうことができる。	9000003
1-3-7	給水の様子	写真資料	1995年2月9日		9000003
1-3-8	救援物資として送られてきただるまストーブ(写真)	モノ資料			250-012039
1-3-9	「声かけ作戦」報告書	紙資料	1995年3月29日	全国各地から駆けつけたボランティアは、さまざまな活動に従事し被災者の大きな助けになった。この資料は、避難所で被災者に対して声かけのボランティアをおこなった記録である。	423-001006
1-3-10	ボランティアの様子	写真資料	1995年2月9日	東灘区におけるボランティアの様子。	9000003
1-3-11	「被災『障害』児・者支援の会」	紙資料	1995年	震災の中、「災害弱者」と呼ばれる方々への支援は不可欠であった。これらの資料から、震災直後からこうした人びとへの支援が試みられていたことがわかる。	149-003162
1-3-12	『障害者による復活・救援活動〈兵庫県南部地震情報〉第31号』	紙資料	1995年2月26日		1400397-003124
1-3-13	「聴覚障害者のみなさんご連絡ください」と書かれたビニール製のチョコキ	写真資料	1995年		1300362-000004
1-4-1	立看板(「二葉町5丁目の皆様へ お願い」解体工事の通知)	モノ資料	作成年月日不詳	神戸市長田区の久二塚地区は、震災によって約3500坪が火災や倒壊によって被害を受けた。復興に向けて仮設店舗や仮設住宅の建設を自主的に行うため、200件近くの解体業務や敷地の借り入れ活動を行った。この資料はその解体工事を通知する立て看板。	3400117-002376



2. 震災資料を伝える — 保存

写真:「人と防災未来センター収蔵庫」

No.	展示資料名	種類	発行年、作成者等	コメント	請求記号
2-1	【人と防災未来センターの震災資料保管】 ①紙資料	紙資料		人と防災未来センターにおいて震災資料をどのように保存しているか、それぞれの資料ごとにサンプルを紹介している。	
2-2	【人と防災未来センターの震災資料保管】 ②モノ資料	モノ資料			
2-3	【人と防災未来センターの震災資料保管】 ③映像・音声資料	映像・音声資料			
2-4	【人と防災未来センターの震災資料保管】 ④写真資料	写真資料			
2-5	【震災を記録した映像資料の上映】(予定)	ビデオ等映像資料		市民の方々が記録した映像には、生活が破壊された衝撃や、復興にかける人びとの生々しい肉声を聞くことができる。	

2-6	『神戸新聞 1995年1月16日～18日』	新聞	1995年1月 発行:神戸新聞社	人と防災未来センターにおける新聞資料の保存処置の紹介。	183-001002～001005
2-7	『神戸新聞 平成七年一月十七日～三十一日』	新聞	1995年1月 発行:神戸新聞社	震災文庫における新聞資料の保存処置の紹介。	震災-1-176 (震災文庫所蔵資料)



3. 震災資料の現在 (いま) — 公開・活用

写真:「阪神・淡路大震災 犠牲者の記録(資料室内閲覧システム)」

No.	展示資料名	種類	発行年、作成者等	コメント	請求記号
3-1-1	「震災文庫」一般公開のポスター	一枚	1995年10月	神戸大学図書館では、被災地の中に位置する大学図書館の責務として震災に関連する資料収集をいち早く開始した。10月には「震災文庫」を設置して閲覧をスタートしている。	震災-8-S51 (震災文庫所蔵資料)
3-1-2	阪神大震災関係の資料収集のポスター	一枚	1995年10月		震災-8-S52 (震災文庫所蔵資料)
3-1-3	人と防災未来センター・震災文庫 震災資料横断検索 [検索用パソコン]	検索 端末	2009年1月運用開始 (http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/crosssearch.html)	人と防災未来センターの収蔵資料と、神戸大学附属図書館震災文庫の収蔵資料の横断検索が可能。	
3-2	遺族の聞き語り調査「犠牲者の記録」[閲覧用パソコン]	閲覧 端末	2005年3月運用開始	1998年に神戸大学工学部有志のボランティアによって震災犠牲者聞き語り調査会が発足された。これまでの聞き取りをもとに作成された犠牲者の記録のうち、ご遺族の了承を得ることができたものを公開している。	
3-3-1	震災体験手記の募集(阪神大震災を記録しつづける会)のポスター	一枚	1995年	阪神大震災を記録しつづける会(以下、記録しつづける会)は、震災直後から、被災者からの手記を集めて出版する活動を続けた(1995年～2004年の間に10冊の本を出版している)。マスコミなどの報道から「漏れる」「どんなささいな記録でも」「いつか役に立つかもしれない」と考えて、さまざまな年齢層、さまざまな国籍の人びとから手記を集めた。手記からは、震災に関する多様な経験を知ることができることはもちろん、10年間という長いスパンの中で、人びとの記憶がどのように変遷するのかを知ることができる。ここでは、実際の手記はもちろん、記録しつづける会が発行した書籍をすべて紹介する。	震災-16-S15 (震災文庫所蔵資料)
3-3-2	震災体験手記原稿 ('震災体験記"慟哭の記"')	紙資料	1995年10月30日付		1300437-006027
3-3-3	震災体験手記原稿 (幼稚園児の震災体験記)	紙資料	1995年10月14日付		1300437-006091
3-3-4	震災体験手記原稿 [自由閲覧用]	紙資料			1300437
3-3-5	『阪神大震災 被災した私たちの記録』	図書	1995年5月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:朝日ソノラマ		5-E/ブン/28787
3-3-6	『阪神大震災 もう1年、まだ1年』	図書	1996年4月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/12267
3-3-7	『まだ遠い春 阪神大震災3年目の報告』	図書	1997年6月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/12515
3-3-8	『今、まだ、やっと… 阪神大震災それぞれの4年目』	図書	1998年6月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/12516
3-3-9	『阪神大震災 私たちが語る5年目』	図書	1999年7月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/12517
3-3-10	『阪神大震災 2000日の記録』	図書	2000年8月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/18969
3-3-11	『阪神大震災 7年目の真実』	図書	2001年6月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/22620
3-3-12	『阪神大震災8年目 記憶の風化と浄化』	図書	2002年9月 編:阪神大震災を記録しつづける会 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/24645
3-3-13	『記録と記憶』	図書	2003年9月 阪神大震災を記録しつづける会編 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/25655
3-3-14	『阪神大震災から10年 未来の被災者へのメッセージ』	図書	2005年1月 阪神大震災を記録しつづける会編 発行:神戸新聞総合出版センター		5-E/ブン/27347



4. 震災と文芸 (図書資料)

写真:「救援物資配布の様子(神戸市東灘区/1995年1月26日)」

No.	展示資料名	種類	発行年、作成者等	コメント	請求記号
4-1	はるかのヒマワリ	図書	2004年9月 片寄知 文・絵『はるかのヒマワリ』(片寄知)	東灘区で被災し、亡くなった加藤はるかさん(当時11才)。家の跡地に咲いたヒマワリは、家族と地域の人によって「はるかのヒマワリ」と呼ばれ、今も育てられています。	5-E*/ブン/28142
		図書	2005年1月 指田和子 作、鈴木びんこ 絵『あの日をわすれないはるかのひまわり』(PHP研究所)		5-E*/ブン/26761
		図書	2005年6月 NHK「はるかのひまわり」取材班 著 『「はるかのひまわり」物語』 (日本放送出版協会(NHK出版))		5-E*/ブン/28741
		図書	2004年12月 加藤いつか 著『はるかのひまわり』(ふきのとう書房)		5-E*/ブン/28879
4-2	まあちゃんのコスモス	図書	2004年12月 中川なをみ 作、石倉欣二 絵 『まあちゃんのコスモス』(新日本出版)	震災から10年目の節目に書かれた物語。震災でかけがえのない親友をなくした少女がたどる心の旅。	5-E*/ブン/28437
		ビデオ等映像資料	『まあちゃんのコスモス』(兵庫機関紙宣伝センター)		5-E/ブンカ/32780
4-3	赤い月	図書	1995年7月 盧進容 著『赤い月』(学習研究社)	『赤い月』、長詩『大震災』など、悲しさと怒りの凝縮した詩集。	5-E/ブン/12186
4-4	作家と震災	図書	1998年4月 村上春樹 著『辺境・近境』(新潮社)	兵庫県西宮市で育ち、震災で実家の家を失った村上春樹。「故郷」と呼ぶべき場所を失った作家が、震災の影響を受け書いた作品やエッセイを紹介する。	5-E/ブン/15260
		図書	2000年2月 村上春樹 著『神の子どもたちはみな踊る』(新潮社)		5-E/ブン/17660
		図書	2002年 村上春樹 著『after the quake』 (LONDON: THE HARVILL PRESS)		5-E/ブン/26243

震災資料横断検索と両機関のHP

神戸大学附属図書館震災文庫と、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター所蔵の図書資料を一度に検索できます。一部資料については全文情報の閲覧もできます。双方のHPからリンクしていますので、ご利用ください。

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/crosssearch.html>



● 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室HP

● 神戸大学附属図書館震災文庫HP



所蔵資料をオンラインで検索することができます。なお、震災文庫では来館できない方にも資料を活用していただくため、デジタル化を積極的に行い、「震災文庫デジタルギャラリー」として公開しています。

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/>



(所蔵資料検索ページ)

横断検索できるのは現在図書のみです。モノ資料や写真等の一次資料はこちらのページから検索してください。

<http://lib.dri.ne.jp/search/>

編集・発行: 神戸大学附属図書館 (<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/>)

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター (<http://www.dri.ne.jp/>)

2009(平成21)年10月9日発行

問い合わせ先: 神戸大学附属図書館情報サービス課情報リテラシー係

Tel: 078-803-5313 Fax: 078-803-7355 E-mail: literacy@lib.kobe-u.ac.jp